

●協和飯店引継ぎ、お金を貯めるまで半年待ってもらいました

MC：本日のゲストは大村で知らない人はいないんじゃないの？っていう、あの協和飯店の代表 浅野慎太郎様にお越しいただきました、こんにちは。

浅野：よろしくお願ひします。

MC：協和飯店の浅野様をご紹介ということですが、どういった経緯で・・・。

宮本：FM おおむらでこういったことをやっていると、浅野さんにお話したら、自ら立候補して(笑) “私が出ます” と言っていたいただきました。今年度のトリとしてふさわしいかと、お願ひいたしました。

MC：ありがとうございます。お話聞きたいということはたくさんいらっしゃるんじゃないかなって思います。

宮本：まずはざっくりと自己紹介からお願ひします。

浅野：2022年の3月に事業継承という形で協和飯店を引き継がせていただいて、日々、中華料理をそして長崎を代表する郷土料理ちゃんぽん皿うどんをお客様に提供して、日々頑張っています。

宮本：ありがとうございます。事業承継で引き継がれて、その前も料理人ですか？

浅野：その前は、父親がビデオレンタルを長崎県内で展開していて、そこで勤めて一生懸命勉強していたんですけど、大手企業が参入してきて、僕らがそのとき380円で貸していたのを、50円とかでレンタルされて、もう価格崩壊でした。その当時、ますます厳しい業界になっているなと思い、このままじゃちょっと駄目だなと思って、周りに反対されたんですけど、父の会社を退社しました。ちょっと都会を見ながら、自分が何をしたいか考えようと思い、愛知県の方に期間従業員として1年間旅に出ました。そこで職場の先輩と一緒に行った中華料理屋で、調理しているコックに目を奪われました。この人みたいになりたいと思って長崎に帰り、ド素人だったんですけど、飲食の世界に飛び込みました。

宮本：ええ～！飲食畑で10年20年というわけでもなく、初めて飲食に飛び込まれて、なおかつ、有名店の事業承継ですか・・・。

浅野：独立を夢見て、独立したいと思って飲食の世界に飛び込んで、最初めちゃくちゃきつかったんですよ。もう大きじ一杯もわからないし・・・。

宮本：どこかで事前にちょっとだけ修行を積まれたんですか？

浅野：はい、修行という形で、飲食店に就職させてもらって、そこでがむしゃらに働いて・・・。

宮本：それはどれくらいの期間ですか？

浅野：飲食店は10年ですね

宮本：自分探しの旅に出られて、戻ってきてから、10年間は違う飲食店で修業され、満を持して協和飯店ですね。

浅野：そうです。事業承継・引継ぎ支援センターという存在を知って登録したところ、先に先代が登録されていて、1ヶ月経たないぐらいにマッチングの話がありました。住所聞いて調べたら待ち合わせ場所がなんと協和飯店だったんです(笑)

宮本：すごいな！自分のお店を持ちたいなって思われて登録したら、すぐに話が来て、話が来た先が協和飯店。もうそのときは、もちろん協和飯店をご存知だったんですよね？

浅野：元々小さいときから協和飯店行っていたので、まさか！でした。協和飯店が閉店しましたっていう貼り紙が玄関に貼ってあったんですけど、僕それを写メって、友達に送っていましたもんね(笑) 「協和飯店なくなったよ、最悪…」と書いて(笑)

宮本：最初に話が来たとき、どんな感じだったですか？

浅野：やはりお金がかかるんですけど、お金もなかったんですけど「やります！」って言って、先代に僕の気持ちを一生懸命伝えました。でもお金がなくて、半年以上待ってもらったかな、契約に至るまでですね。

宮本：待ってくださったんですね、半年……。

浅野：待ってくださいました。仕事が休みの日は毎週会いに行って、今の状況を伝えたりして。

宮本：その熱意が伝わって、熱量に押されたんですね。

浅野：もう僕、熱量しかなくて(笑)「絶対やりたいです！」っていうのを伝えましたね。

宮本：ご家族は、全面的に協力してくださって、頑張れって感じでしたか？

浅野：母親はすごく応援してくれました。奥さんも奥さんのご両親もすごく応援してくれましたね。

宮本：あの協和飯店！っという感じですね。

浅野：みんな協和飯店大好き(笑) 奥さんの家族も。

宮本：苦節半年じゃないけれども、情熱と何とか準備も整ったところで、事業承継のお話がどんどんどんどん進んだんですね。

浅野：そうです。僕と話をしている間も協和飯店は有名だったんで、ライバルが現れてくるんですよ、お金持ちの(笑)

宮本：そうですね～(驚)、なんで半年待つてくださったのかな？

浅野：そのとき先代に聞いたら、「人柄だ」って言ってもらって・・・よかった♪と思いました(笑)

宮本：素晴らしいですね！この穏やかなっていうか、嘘をつけないこの笑顔が(笑)全てを動かしたのでしょうか。しかし半年待っている間も、いろんな方が来られたんですね。

浅野：東京からも来たとか言っていましたよ。

宮本：いよいよ契約できるところまで頑張れました、お金も貯めました。となったときに、先代はすごく喜んでくださったんですか？

浅野：そうですね。元々肩が上がらなくて引退されたんですけど、1年半ぶりに先代が鍋を掴まれたときは、「いつもより調子がいい」と言って、ちょっと張り切られていましたね。